



千の手

犬 山
つ が お かのん
継鹿尾観音
寂光院

継鹿尾山頂・三角点から木曽川を望む



寂光院全山・飛騨木曽川国定公園
寂光院全参道・国指定『東海自然歩道』
天空の絶景
継鹿尾山

東は「明治の森高尾国定公園」より、西
に向かって「明治の森箕面国定公園」まで、
各国定公園を結ぶ全長一三七六kmを『東海
自然歩道』と申します。その中で一三七〇
mが寂光院の参道です。

織田信長の眺めた尾張、美濃

永禄八年（一五六五）九月十八日、信長
公は柴田勝家を伴い参詣のみぎり、当山を
清州城の鬼門鎮護の靈刹とされました。

この展望台からは小牧城、犬山城、岐阜城
が一望できます。

爽やかな靈氣、鳥の歌声に、

自分を取り戻す!!

コロナ禍の昨今、登山参詣するお人の数
が多くなりました。

窮屈な日常生活をひととき離れ、心をの
びのびと開放される方が多くなりました。

本堂の千手観音様に手を合わせる人の、
安らかな顔が多くなりました。



本堂脇展望台より三城一望



本堂脇展望台より継鹿尾山頂三角点を望む

お元気でいらっしやいますか

今焦眉の問題は「コロナの終息」です。昨今、幸いにも新しい生活様式が定着し、ウィルス接種も軌道に乗り始めました。どんな長い闇夜も明けない夜はありません。謙虚さを失うことなく、「日々是好日・感謝の日暮らし」でその日を迎えたいと存じます。

さて、コロナが始まってこの一年ほど、日常生活がいささか窮屈になりましたので、継鹿尾山に「お一人登山」をされる方、「お一人静かに参り」される方が多くなりました。

内に向く眼を外に回し向ける〓回向

皆さん尾張美濃を見晴るかす本堂脇の展望台で、しばしぼんやりたたずんでみ



千手観音（本堂）

本堂脇展望台から

回向する

犬山・寂光院山主

松平 實胤

優先して、本来の自分を見失いがちになります。しかし、すすんで手を合わせて拝むうちに、不平不満が感謝の気持に、おごり自惚れが素直な謙虚な気持ちに、恨み妬み嫉み僻みが少しずつ薄れて爽やか気持ちに変わっていくのでしよう。拝むことは本来の自分を取り戻すことです。ですから、手を合わせて拝むと心が落ち着いて安らかな爽やかな心が戴けます。さらに「今を前向きに精一杯生きる力」が蘇ります。

心の健康〓体の健康

莫大な情報量の中で、現代人は数多のストレスを抱えて生きなくてはなりません。誰でも自分を見失ってしまいます。総じて現代人は多忙です。忙しさのあまり、行動を決定する基準を見失いがちです。まさに「忙（心を亡くす・心を滅ぼ

えます。少しせこましくなった心がすこしずつ広がっていくのでしよう。しばらくすると穏やかな顔に戻れます。自分にしか向かない狭い眼が、視野が拡がるにつれ、外に回し向けることができるのでしようか。まさに「回向（えこう）」です。愛知、岐阜、目に入るすべてのまちの人々の幸せを祈るようなおらかな気分になられるのでしょうか。

本堂前では一人静かに千手観音様に手を合わせて拝んでおいでになります。しばらくしますと爽やかなお顔になられます。

手を合わせて拝む〓本来の自分に戻る

誰でも例外なく、「本来の自分」があります。本来の自分は仏様の心、仏心そのものです。しかし、社会で、家庭で、つい「貪り心」、「怒り心」、「愚かな心」が

す」今心がここに無い状態が日常になりました。おりおり本来の自分を取り戻す、真心を取り戻す事が必要です。折々に手を合わせて拝むことは、「心身の健康」にも繋がります。

幸いにも私には日日必ず手を合わせて拝む時間があります。しかし、残念ながら、効き目は長く続きません。日常生活に戻るとまた「元の木阿弥」、皆様御存知のこの体たらくです。しかし、毎日繰り返しすることで、自分を見失わぬよう、更に「回向」のところが頂戴できるよう、一層「拝む心」を大切にしたいと思っています。

皆様、お心、お体をお大切に、益々のご清栄をご祈念申し上げております

令和三年夏

合掌

聖徳太子千四百年御遠忌

本年は聖徳太子が推古三十年（六二二年）に崩御されてより千四百年御遠忌に当たります。当山には聖徳太子を祀る聖徳殿がございます。祥月命日の二月二十二日に千四百年御遠忌法要を厳修致しました。（御遠忌記念として、奈良国立博物館で「聖徳太子と法隆寺」特別展が開催されました。続いて東京国立博物館で開催されます）

当山の聖徳殿は大正十三年に未来を担う青少年育成の為の研修道場として建立されました。御本尊は聖徳太子が十六歳のみぎり、ご尊父用明天皇のご病氣平癒を祈られた時のお姿とされる孝養太子像です。この少年像を中心に十七条憲法の「和を以て貴しと為す」「篤く三宝を敬え」をスローガンとして運営されました。戦前戦中を通して幾多の有為な人材を育成（お名前は控えますが、錚々たる方々が含まれます）、戦後復興の担い手として活躍されたということです。また、師範学校付属小学校の疎開児童の教育並びに生活の場として、戦後は各企業の社員研修、各青年会議所等の研修など、「聖徳殿」と聞いて寂光院を思い出す方も多いかと思えます。

現在はお写経の道場として、写仏の教室として、「やすらぎ説法」の会場として、また当山諸行事の場として使われています。（ヨガ教室としてご利用戴くこともあります）



聖徳太子・孝養像（聖徳殿）

聖徳太子と弘法大師

当山は真言宗智山派に属します。宗祖弘法大師は青葉の美しい六月十五日がお誕生日ですので、京都総本山智積院では「青葉まつり」が盛大に催されます。末寺の当山では六月十五日に近い第二日曜日の「やすらぎ説法」で必ず空海弘法大師のお話をさせて戴いております。「やすらぎ説法」の会場は聖徳殿ですので、今年は聖徳太子千四百年御遠忌記念として『聖徳太子と弘法大師』と題してお話させて戴きました。

※「聖徳太子」も「弘法大師」も、それぞれ生前のお名前は、『厩戸皇子』『空海』です。『厩戸皇子』は叔母に当たる推古天皇の摂政・皇太子として五九三年に二十才で即位されましたが、推古天皇が長命でしたので推古三十年（六二二年）に四十九歳で天皇に即位することなく皇太子のままで崩御されました。そこで崩御後に「聖徳（聖人のような高い徳を具えた）太子」と呼ばれるようになったそうです。太子は後に贈られた尊称であり、諡号（しごう）というべきものです。

一方、高野山を開き、真言密教を弘めた空海は八三五年六十二才で高野の奥の院に「入定」（空海には入滅とか、入寂という表現はありません。未来永劫続くであろう人間の憂・悲・苦・悩を見守り続けるというご誓願のもとに高野の奥の院で禪定に入られます）されます。その八十六年後、醍醐天皇から戴かれた諡号が『弘法大師』です。

お二人を慕い敬う人々の心はその後『南無聖徳太子』、『南無大師遍照金剛』と唱えられ、信仰の対象として、宗派を超えて日本人の心の支えとなっています。

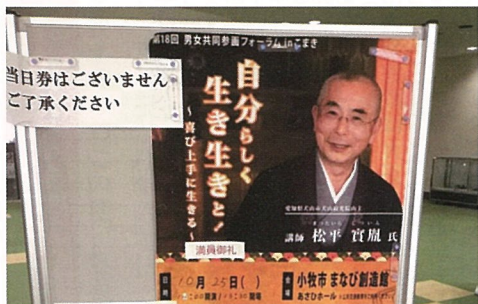
お二人が今なお万人から慕われる理由の一つが、仏教の根幹である「無差別、平等」を実践されたからだと思います。国連の十七の持続可能な目標「SDGs」をはじめ現代になお各分野で差別が問われています。今一度皆様とお二人の教えを学んでいきたいと思えます。（※九月十二日の「やすらぎ説法」でもう一度お話させて戴く予定です）

「聞いて下さる皆様方のおかげ」 —— 思い出に残る講演会 ——

コロナ禍 殆どの講演会が中止になりましたが、秋になりましたら、小牧、各務原市、名古屋市など計六カ所の会場で講演させて頂くことができました。

どの会場でもフェイスシールド、マウスシールドなどの着用で講演、会場の制限は厳しく、とても緊張しました。会場設営にご苦労されました皆様により御礼申し上げます。

しかし、オンラインではなく、直接お客様の前でお話できることの有難さは筆舌には尽くせません。お招き戴き有難うございました。



「男女共同参画フォーラム in こまき」

○ 10月25日（日）13時半～15時

小牧市 あさひホール

「男女共同参画推進フォーラム in こまき」の講演会を犬山市寂光院山主の松平實胤氏に講演して頂きました。会場内は新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、間隔を開けての入退場、マスクや消毒の徹底、検温実施、収容人数の制限をしつつの開催となりましたが、募集定員数はチケット配布開始日すぐの段階から配布終了（売り切れ）となる、大好評の講演会でした。

講演内容は、近年世界規模で取り組まれている『SDGs』をはじめ、『ジェンダー平等』『自分らしく生き生きと！過ごすために』といったものを住職のわかり易く受け入れやすい言葉でお伝え頂き、あっという間の講演時間となりました。（ウィメンズネットこまき HP）

スロープカー〈やすらぎ号〉 運行10周年

当山の本堂は継鹿尾山の中腹にあり「天空の絶景」と言われるほど木曾川を眼下にする展望台は皆様に親しまれています。しかし、本堂の千手観音様にお参りするためには山麓の山門（薬医門）から三二〇段の石段を登らねばなりません。そこで平成二十二年八月夏、長年来の懸案でありました山麓と本堂を結ぶ「スロープカー」を開設、ミニケーブルカーとして皆様に親しまれてまいりました。常に安全な乗り物として、定期点検並びに通常点検を怠ることなく運行してまいりましたが、一〇年を経て大掛かりな足回りの部品交換を、また新しく歩廊の架け替え工事を施しました。今後ともスロープカー〈やすらぎ号〉をご利用のほどお願い致します。



寂光院友の会 千手会

心豊かに生きる喜び

仏教に学ぶ

楽しい仏教教室

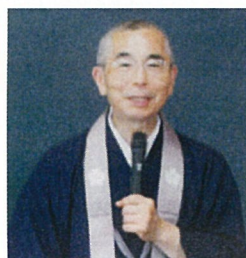
千手会総会記念講演会

- 日時 11月14日(日)
午前11時～12時半
- 場所 聖徳殿
- 講演 ひろさちや先生



やすらぎ説法

- 日時 毎月第2日曜日
午前11時～12時半
- 場所 聖徳殿
- 講演 松平實胤山主



静寂な山寺で

お写経なさいませ!!
静かに瞑想なさいませ!!

— お出かけ案内(月例行事)仏教を体験する —

5日	10:30	なな七七月まいり ずいぐ随求菩薩ご縁日 大護摩祈禱、やすらぎ法話
18日	10:30	なな七七月まいり 千手観音ご縁日 大護摩祈禱、やすらぎ法話
第1日曜日	11:00	月輪観(瞑想)&写経 静かな仏前で本来の自分に出会うひととき!
第2日曜日	10:00	お写経〈般若心経を読む書く〉
	11:00	やすらぎ説法
第3土曜日	13:00	写仏教室〈仏さまを描く〉 講師 前田道雄先生(中日文化センター講師)
第4日曜日	10:00	お写経の集い〈般若心経を読む聞く書く〉

月輪観・お写経は上記に限らずいつでもご用意致しておりますのでお電話下さい(要予約)



寂光院の「もみじ樹木葬地」は、
寂光院が好きで自然志向の皆様方、
お墓の継承や無縁化が心配とお考えの方、
紅葉のもとで自然に還る、新しい形の永代供養墓です
＜詳細は寂光院事務所まで＞

春は花、夏青もみじ、秋は紅葉、冬凜として霊気漂う
県下最古刹 1360年の歴史、国定公園という緑豊かな自然

尾北随一「春の爽やかな青もみじ、
秋の雅なまでの紅葉樹林」に囲まれた

もみじ樹木葬地



お問い合わせ 0568-61-0035

詳しくは

犬山寂光院

検索



令和三年 九万九千日記念慈悲行

昭和三十六年屋根替えの

「山門（薬医門）」

屋根瓦葺き替え

◎記念慈悲行

一、国登録有形文化財

山門（薬医門）

「屋根瓦葺き替え」



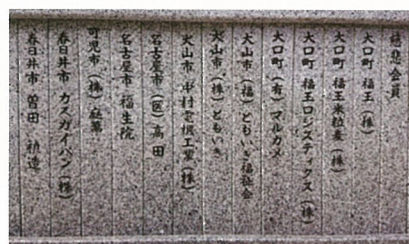
当寂光院は尾張最古の千手観音霊場ですが、山寺の宿命で自然災害が多く、古いものは伝承されてはいません。しかし、現存する建物で最古のものが天保七年（一八三六年）の「山門（薬医門）」です。匠長・竹中和泉正敏（竹中第九代、現・柳竹中工務店）の建築で、小ぶりですが実に優美な山門ということで、平成十七年に国登録有形文化財に指定されました。この山門は、昭和三十四年の伊勢湾台風で瓦屋根を損失、昭和三十六年屋根替並びに大改修を施し、旧に復しました。更に平成十八年には解体修復・耐震工事を施工、現在に至っています。しかし、瓦屋根が経年の劣化と、昨今の大雨で大棟から雨漏りが始まりました。緊急を要するためこの度、屋根瓦葺き替え工事を発願致しました。

時節柄まことに心苦しいことですが、今年度の記念慈悲行として皆様方の御信援御協賛を伏してお願い申し上げます。

九万九千日記念慈悲行

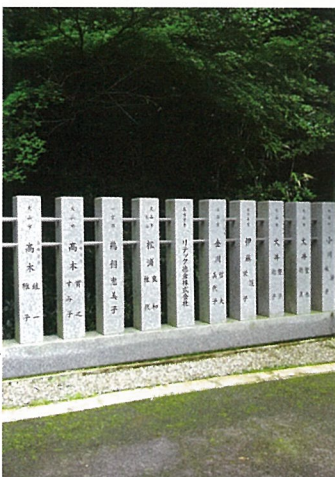
大慈悲会員 慈悲会員 銘板

吉例・九万九千日記念慈悲行に大慈悲会員ならびに慈悲会員としてご協賛いただきました皆様のご芳名は、絶景展望台（十二支恵当守り本尊霊場）の中心においてになる筆弘法大師の台座下に謹刻しております。なお、篤志会員並びに協賛会員様のご芳名は法輪殿（参詣者休憩所）にご掲示しております。



玉垣建立のすすめ

お申し込み受付中!!



令和二年度「九万九千日報恩感謝行」厳修

令和二年は年初来の新型コロナウイルス感染拡大により、なすすべもなく社会、経済、文化を始め各分野の皆様が大きなご苦勞を強いられることとなりました。そこで令和二年度「九万九千日記念慈悲行」は「九万九千日報恩感謝行」とさせて戴きました。今まで快くご協賛戴きました皆様に観音様の慈悲のお力が倍増し、この難局を清々しく前向きに乗り越えて戴けますように、精一杯御祈禱申し上げるのが当山の勤めと存じ上げた次第でございます。

しかし、逆に多くの皆様から篤いお心を寄せて戴き、「ご芳志」を拝受、忝なく存じます。これひとえに当山千手観音様の御聖徳と存じ、さらなる千手観音様への報恩感謝のお勤めに精進致してまいる所存です。

御芳志をお寄せ戴きました皆様に衷心より御礼申し上げます。

御芳志（順不同敬称略）

小牧市
(株)アルヴェスタ

福玉精穀倉庫(株)

福玉(株)

福玉米粒麦(株)

福玉ロジステイクス(株)

(株)マルカメ

社本 宮明

社本 和悦

大口町 田中産業(株)

可児市 (株)庭萬

一宮市 (株)吉田組

名古屋市中山工業(株)

扶桑町 名古屋モウルド(株)

杉浦 尚三

犬山市 (株)キトウ商会

(株)小島板金工業所

(福)ともいき福祉会

(株)ともいき

谷津 義雄

名古屋原啓印刷(株)

八王子市三伸商事(株)

コロナ禍ですので、あちこちが
気になり、改修しました

ただし、山寺の寂光院!!

バリアフリーは夢のまた夢ですが・・・

一、庫裏・事務所棟
ベランダ手摺
安全対策工事

二、内仏堂 ⇄ 聖徳殿
石段増設工事
石段増設工事

三、事務所受付前
石段増設工事



玉垣御志納 順不同敬称略

〈本堂参道入口〉玉垣・大柱

可児市

(株)庭萬

可児市

(株)丸光イトウ

伊藤光郎

〈観音坂入口〉玉垣

小牧市

犬山市

中島祥子

名和好美

名和順子

十二支恵当守本尊・銘板 敬称略

丑年 犬山市 加藤裕美

篤信御志納 順不同敬称略

扶桑町 山田昇一・孝子

大口町 徳永シズ子

〈本堂用掃除機〉

名古屋市 佐藤利恵子

〈四季の鉢植え〉

関市 井戸眞知子

〈蓮華〉

各務原市 二宮愛子

寂光院友の会 千手会のご案内

千手会は寂光院に心を寄せて戴いている皆様の集いです
千手会にはわずらわしい制約は一切ありません
千手会はすべて自由参加です 是非ご入会下さい

きりとり線

千手会申込書

(特典はホームページをご覧ください)

正会員 (一口三千円)

円

賛助会員 (一口三万円)

円

右申込致します

住所 〒

氏名

おとし

電話

()

年 月 日

内陣 特別参拝

月例大護摩祈祷〈祈りの浄火〉

毎月五日・十八日、午前十時半

〈この日、この時の吉縁〉

ご本尊千手観音様の御前で、お願い事を浄書した護摩木を手に直接お参りできます。そのあと、「やすらぎ法話」にもご参加いただけます。

「お護摩」の浄火で清新な自分を取り戻して、観音様から「お願い事」を成就できる力を戴くご祈祷です。



●護摩木ご志納 三〇〇円

(お願いごと、お名前、お年を護摩木にお書き下さい)

●ご祈祷志納 五、〇〇〇円以上

(大護摩礼授与・ご郵送も可)

●ご祈祷申込 当日の十時迄にFAXかお電話で

●交通 名鉄犬山遊園駅東口より直通バス運行



七カ月お参りすると「大願成就」!!

ななつき 七七月まいり (心を養う)

○五日 健康長寿 大随求菩薩縁日

○十八日 一心祈願 千手観世音縁日

・各十時半より、

大護摩祈祷と松平實胤山主の

「やすらぎ法話」

・犬山遊園駅より直通バスあり

「縁の日がご縁日」

ななつき 七七月まいりは「月参り」です。いつでも都合のよい日をご縁の日(縁日)【七七月まいり】の受付は年中無休です。

寂光院への連絡方法

- ①電話 0568 (61) 0035
- ②FAX 0568 (61) 5953
- ③千振替 00800-4-40664
- ④Eメール i.matsudaira@jakkoin.com
- ⑤ホームページ

犬山寂光院 検索

発行所 継鹿尾観音 寂光院

〒四八四-〇〇九一

愛知県犬山市継鹿尾字杉ノ段一二番地
令和三年八月九日発行(第五十九号)